

2025-2026年度

西脇ロータリークラブ週報



No.14 第2876回 令和7年11月17日

今週の歌:手に手つないで

プログラム 「ロータリー月間卓話」
ロータリー財団委員会ポリオプラス小委員会
渡瀬直哉委員（小野加東RC）

会長 吉田 康志 幹事 赤井 浩起

例会日 月曜日 12:30-13:30

例会場 西脇ロイヤルホテル 2F Tel:0795(23)2000

事務局 西脇商工会議所内

〒677-0015 西脇市西脇 990

Tel:0795(22)3901 Fax:0795(22)8739

吉田会長のテーマ

「ロータリアンの自覚と誇りをもってロータリーライフを楽しもう」

本月のお祝い

○誕生日 おめでとうございます。

11/16 藤原 悅男会員

11/19 和田 良勝会員

11/24 渡会 英明会員

○結婚記念日 おめでとうございます。

11/3 藤井 治幸会員

11/3 金田 実会員

11/11 上郡 法之会員

11/11 藤原 由樹会員

11/12 足立 達明会員

11/21 村上 康憲会員

11/25 高瀬 英夫会員

11/27 矢納 利夫会員

豊臣秀長は、戦国時代から安土桃山時代にかけて活躍した武将で、豊臣秀吉の異父弟と言われています（同父弟との説もあり）。その存在は兄・秀吉の陰に隠れがちですが、実際には豊臣政権の形成と安定において不可欠な役割を果たしたと考えられています。豊臣政権が一定の秩序を保つことができた背景には、温和で理知的な性格を持ち、争いを避けて円滑に物事を運ぶ調整力に長けていた秀長の存在が不可欠であったとされ、近年再評価が進んでいます。

堺屋太一著作の『ある補佐役の生涯 豊臣秀長』は、豊臣秀長にスポットを当てた歴史小説です。戦国時代を舞台に、兄・秀吉を陰で支え続けた名補佐役として、秀長の生涯を描いています。本作では、秀長を「日本史上屈指のナンバー2」とし、その卓越した実務能力や調整力・統治能力を描き、彼がいなければ秀吉は天下人になれなかっただと書かれています。堺屋太一は経済や組織運営の視点から歴史を考察する作風で知られており、本作でも秀長の政治手腕や組織マネジメントに焦点を当てています。戦国時代の政権運営に興味のある方にとって魅力的な作品ですので、皆様もご一読をお勧めします。

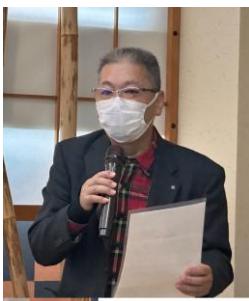
11月9日(日) 第2875回例会記録

○出席 会員数 42名（出席免除 4名・休会 1名）

出席 35名（例会出席 13名 MU 21名）

会長の時間 吉田康志会長

家族例会にご参加頂いたご家族の皆様、ありがとうございます。生憎の天気となりましたが、十分楽しんでいただきたいと思います。さて、来年の大河ドラマは「豊臣兄弟」です。主人公は豊臣秀長。秀長にゆかりの地ということで、家族例会に長浜を選ばせていただきました。



幹事報告

・本日は月初めですが、今月のお祝いは次回の例会でさせていただきます。また来信につきましても次回とさせていただきます。

・11月16日(日)はにしわき産業フェスタです。お餅つきとおもちの振る舞い、ポリオ募金を行いますので、ご協力よろしくお願いします。

プログラム

◎親睦家族例会



廣中親睦委員長



赤井幹事



藤原会員
乾杯



藤井エレクト
閉会のあいさつ



黒壁スクエアで集合写真

今後のプログラム

- 11月24日(月) 休会（勤労感謝の日の振替）
12月8日(月) 担当：クラブ管理運営委員会
12月22日(月) クリスマス例会 18:30~

- 12月1日(月) 炉辺会合報告
12月15日(月) 担当：社会奉仕委員会
12月29日(月) 休会（定款により）